

## 王者の気品とフランスのエスプリ

フランス音楽の奥義を受け継ぐ正統派

パリ・シャンゼリゼ通り、凱旋門のほど近くエトワール改革派教会オルガニスト

# リズベス・シュランベルジュ

## —— オルガン・リサイタル ——



“極上のバッハ…そしてメシアン”  
ボルドー国際コンクール優勝！

リヨン国立高等音楽院准教授 シャトル国際コンクール審査員

J.S.バッハ：トッカータとフーガ ヘ長調 BWV540

「バビロン川のほとりに」 BWV653

メシアン：「主の降誕」 ほか

平成25年**3月12日**(火)午後7時開演 武蔵野市民文化会館小ホール  
全席指定 1,000円(アルテ友の会 900円)

モーツァルトがこの劇場で自作『フィガロの結婚』を指揮

“世界のモーツァルト劇場” プラハ国立劇場

# モーツァルト歌劇 「フィガロの結婚」

アーノンクルの秘蔵っ子イザベル・レイが伯爵夫人を歌う。カレーラス、アラーニャなどの名歌手とも共演し、ウィーン国立歌劇場では、これまで歌っていたスザンナに続き、ついに伯爵夫人でロールデビュー決定！ウィーンに先駆けて武蔵野でレイの名唱を！

指揮：ヤン・ハルパツキー

プラハ国立劇場管弦楽団・合唱団 字幕付

平成25年**1月15日**(火)午後6時30分開演

武蔵野市民文化会館大ホール

一般 S席 14,500円 A席 13,000円 B席 10,000円 C席 完売  
アルテ友の会 S席 13,000円 A席 11,700円 B席 9,000円 C席 完売



イザベル・レイ

プラハ国立劇場

※アルテ友の会には年会費1,000円で同時入会できます。  
この機会にぜひご入会ください  
(電話予約のみ。ネット予約は不可)

公益財団法人 武蔵野文化事業団

www.musashino-culture.or.jp

●チケットのお申し込み

☎ 0422-54-2011

●チケット取り扱い窓口

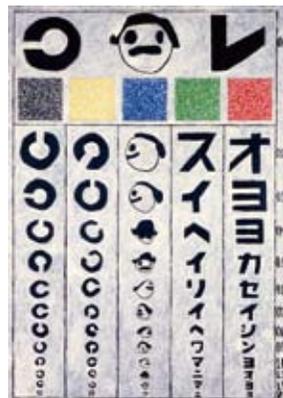
●武蔵野市民文化会館 ●武蔵野芸能劇場 ●武蔵野公会堂 ●武蔵野スイングホール  
●吉祥寺シアター ●吉祥寺市政センター ●武蔵境市政センター ●中央市政センター

# 中ザワヒデキ展 脳で見るアート

中ザワヒデキといえば、美術の根本を問い新たな表現のかたちを提示し続ける現代美術家として、その名を知る人も多いでしょう。しかし、その作品の典型を即座に思い浮かべられる人はそう多くないのかもしれませんが。というよりも、中ザワといえばこれだというような、ひとつの典型を見出すことが極めて困難というべきでしょうか。中ザワの芸術遍歴はその展開の目まぐるしさのあまり、ひとつの固定イメージが一般に浸透するひまもありません。であればこそ改めて作品をたどってみれば、制作活動の多彩ぶりに改めて驚かされることでしょう。中ザワは医学部出身で眼科医局勤務経験ありという異色の経歴の持ち主でもあります。そこで培われた理系知識の発揮された(方法絵画)、〈脳波ドローイング〉など、コンセプチュアルアートの世界で新たな手法

を切り開いていくイメージが強くもありますが、油彩画やアクリル画など既存のジャンルにおいても、ジョークを利かせたカラフルでポップな作品を数多く制作しています。

本展覧会では、脳の知覚作用や視覚生理を切り口とした作品を中心にピックアップし、中ザワが追究する方法理論に裏打ちされた、独自の現代アートの世界を紹介します。鑑賞における視覚の意義を強く再認識させるその作品の多くは、観る者の視覚を刺激し、さらに作用を及ぼす脳の内でも解かれて初めて完成されます。素通りを許さず、一目では解せず、多角的な見方を与えない、言ってしまうと一方的なこの作品一つひとつと対峙し、それらが持つ理論の読解に挑むことは、観ることの意味を今一度考える好機となるでしょう。



《シリョクヒョウ》  
1988年 アクリル、板  
松前公高氏蔵



《セル(ローズ・ウルトラマリン・イエロー、5)》  
2008年 油彩、カンバス  
Gally Cellar蔵



《三五目三五路の盤上布石絵画第一番》  
1999年 アクリル、石膏、基石  
黒川未来夫撮影 Gallery Cellar蔵

## イベント

### ① 対談「《脳波ドローイング》の生まれた日」 中ザワヒデキ×神山亮子(府中市美術館学芸員)

日時 平成25年1月26日(土) 午後2時~3時30分  
定員 90名(要予約・申込順)

### ② 対談「中ザワヒデキの美術」 中ザワヒデキ×石井香絵(早稲田大学大学院博士課程)

日時 平成25年2月16日(土) 午後2時~3時30分  
定員 90名(要予約・申込順)

### ③ 作家による新作設置

日時 平成25年1月20日(日)、2月10日(日) 午後2時~

#### ■ 申し込み方法

- ①②:電話または美術館窓口で直接申し込み
- ③:申込み不要、見学自由。ただし美術館入館券が必要

《脳波ドローイング第二〇番》2006年 インク、紙 府中市美術館蔵

記念室のご案内 **開催中**~平成25年**2月17日(日)まで**

### 〈浜口陽三記念室〉

#### パリに暮らして

銅版画家・浜口陽三と、生活を共にした南桂子。独自の作風を築き上げた二人にとって最も充実し多いものとなったパリ時代の作品を紹介する。



《パリの屋根》1957年

### 〈萩原英雄記念室〉

#### はじまり

独創的な木版画の技法で世界的に評価を得た萩原英雄。作家が木版画を手がけるきっかけとなった、年賀状のシリーズをはじめとする作品を紹介する。



《星雲 No.2》1987年

次回展のご案内 平成25年**4月6日(日)~6月23日(日)**[前期:4月6日(土)~5月15日(水) 後期:5月18日(土)~6月23日(日)]

3月は市民ギャラリーとして貸出中のため美術館主催の企画展はありません。

## 佐々木マキ 見本帖(仮称)

京都市立美術大学在学中に漫画家として早くから注目され、1960~70年代にかけて日本の漫画史に不滅の足跡を残した佐々木マキ。本展では絵本原画のほか、初期の漫画作品や装丁に使われたイラストなどの貴重な作品群を一堂に集め、そのシュールでクールな不思議世界を紹介します。



## 武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 F&Fビル(コビス吉祥寺A館)7階 ☎0422-22-0385  
ホームページ [http://www.musashino-culture.or.jp/a\\_museum/](http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/)  
★ツイッターはじめました! [http://twitter.com/kichi\\_museum](http://twitter.com/kichi_museum)

開館時間: 午前10時~午後7時30分

休館日: 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日(金)~平成25年1月4日(金))、展示替えおよび特別整理期間

入館料: 100円(小学生以下・65歳以上・障がい者は無料)

■交通案内 / JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」中央口下車 徒歩3分